

- 1 Year after year, the processing power of computers has increased dramatically. This is not only true for the personal computers that many people use in their homes and offices. Supercomputers, most of which are owned by laboratories or government departments, have always had amazing computing power, and they keep getting faster. In the world of supercomputers, Japan and the U.S. have been competing to reach first place in processing speed.

世界最速スーパーコンピュータの年表

名称	年	最高速度	メーカー	所有者	所在地
クレイ1	1976	250 MFLOPS	クレイ	ロスアラモス国立研究所	ニューメキシコ州、米
NWT (数値風洞)	1994	170 GFLOPS	富士通	航空宇宙技術研究所	東京、日本
ASCI Red	1997	1.33 TFLOPS	インテル	サンディア国立研究所	ニューメキシコ州、米
ASCI White	2000	7.22 TFLOPS	IBM	ローレンス・リバモア国立研究所	カリフォルニア州、米
地球シミュレータ	2002	35.86 TFLOPS	NEC	地球シミュレーションセンター	横浜、日本
ブルーゲージ・L	2005	136.8 TFLOPS	IBM	米国エネルギー省	カリフォルニア州、米

1 TFLOPS = 1,000 GFLOPS

- 2 It is said that the first supercomputer sold worldwide was the Cray-1, made by an American company called Cray in 1976. It cost 2.7 billion yen and had an eight-megabyte memory. Its peak speed of 250 MFLOPS meant that it could calculate 250 million times per second. This may sound fast, but it is actually less than the peak speed of current personal computers. Then in 1994, a Japanese company called Fujitsu developed NWT, or Numerical Wind Tunnel. It was 680 times faster than the Cray-1, changing the scale of speed to GFLOPS, which are 1,000 times faster than MFLOPS. It was co-developed with its owner, the National Aerospace Laboratory, and used to simulate the movement of the wind as it affects aircraft in flight. Since then, each supercomputer has managed to 34 about three years.
- 3 Let's examine the state of supercomputers in recent years and the impact they have had on other fields of science and technology. Since 2005, the U.S. has made better supercomputers. However, the Japanese government currently has plans to develop a new supercomputer in the near future so that Japan can reach the top again. This new computer is expected to have 250 times the calculating capabilities of the Earth Simulator.

【訳】

- 1 年々、コンピュータの処理能力は劇的に増加してきた。これは、家庭や会社で多くの人が使うパソコンにだけ当てはまる話ではない。スーパーコンピュータは、その大半が研究所や政府省庁に所有されているのだが、これまでも常に驚くべき演算能力を持ち、より高速になり続けている。スーパーコンピュータの世界では、処理速度の点で1位になるために、日本とアメリカがずっと競い続けている。
- 2 世界的に販売された最初のスーパーコンピュータはクレイ1だったと言われているが、それはクレイ社というアメリカの会社によって1976年に作られた。それは27億円し、8メガバイトのメモリを持っていた。その250メガ・フロップスという最高速度は、1秒間に2億5千万回の計算ができることを意味していた。これは高速と思えるかもしれないが、実際は、現在のパソコンの最高速度に満たない。それから1994年に、

富士通という日本の会社がNWT、つまり数値風洞・ウインド・トンネル（数値風洞）を開発した。それはクレイ1の680倍速く、速度の単位をギガ・フロップスに変えたが、それはメガ・フロップスよりも1,000倍速いのだ。それは、所有者である航空宇宙技術研究所と共同開発され、飛行中の航空機に影響を与えるときの風の動きをシミュレートするために用いられた。そのとき以来、それぞれのスーパーコンピュータが約3年間ずつ、何とか1位の座を守ってきた。

3 近年のスーパーコンピュータの状況と、それらが科学技術の他の分野に及ぼした影響を考察してみよう。2005年以来、アメリカの方がよりよいスーパーコンピュータを制作するように、近い将来、新たなスーパーコンピュータを開発する計画を持っている。この新しいコンピュータは、地球シミュレータの250倍の計算能力を持つことが予測されている。

該当情報を表と文章から絞り込む

問1: NWTについて正しいものはどれか。

【表】NWTの列

【文章】11行目と14行目

- 「富士通という日本の会社がNWTを開発した」
- 「所有者である航空宇宙技術研究所と共同開発された」
- ④「研究所の援助を受けて、日本の会社によって作られた」

空所内容を文脈と表から確定する

問2: 約3年(間)、各スーパーコンピュータが何と何としてきたものは何か。

【文章】15～16行目

- 「1994年以来、各スーパーコンピュータが約3年(間)、何とかしてきた」

【表】年の列

- 1994年以降約3年ごとに世界最速のスーパーコンピュータが入り替わっている。
- ③「約3年間、1位の座を何とか保ってきた」

正しい推論を文章から判定する

問3: 将来、何が起きそうか。

【文章】19～20行目

- 「日本政府は現在、日本が再びトップの座につけるように、近い将来、新たなスーパーコンピュータを開発する計画を持っている」
- ②「新しい日本のスーパーコンピュータは、日本政府の期待通りに機能すれば、世界で最速のものになるだろう」

続く話題を予測する

問4: 最終段落に続く話題は何か。

【文章】17～18行目

- 「近年のスーパーコンピュータの状況と、それらが科学技術の他の分野に及ぼした影響を考察しよう」
- ④「スーパーコンピュータが他の研究分野を変えた方法の例」

問1

該当情報の絞り込み

Which of the following is true about the NWT? 33

- ① It could generate various kinds of wind.
 - ② It has not been used since it lost first place for calculating speed in 1997.
 - ③ It was improved by the Japanese government in 2002 at a large expense.
 - ④ It was made by a Japanese company with help from a laboratory.
- 【訳】 NWTについて当てはまるのは次のどれか。 33
- ① さまざまな種類の風を発生させることができた。
 - ② 1997年に計算速度で1位を失って以来、使用されていない。
 - ③ かなりの費用をかけて、2002年に日本政府によって改良された。
 - ④ 研究所の援助を受け、日本の会社によって作られた。

▶ NWTについての記述は本文Ⅱ.11～15と表の2行目。

選択肢の研究

- ① NWTが行うのは、本文Ⅱ.15から、「飛行中の航空機に影響を与える風の動きをシミュレートすること」。実際に風を生み出すわけではないので、不一致。
- ② 表から1997年に速度第1位の座を失ったことがわかるが、「それ以来、使用されていない」との言及はない。
- ③ 表の2002年の行に「日本の地球シミュレータ」の記載があるが、それがNWTの改良機であるとの言及はない。
- ④ 表から、制作が富士通、所有者が航空宇宙技術研究所とわかる。また本文Ⅱ.14の「共同開発された」は、選択肢の「研究所の援助を受け」と一致する。

問2

空所前後の文脈の読み取り

From the information in the passage and table, which of the following is the most appropriate for the blank? 34

- ① change its country of location in
 - ② double its peak speed in
 - ③ keep its first-place position for
 - ④ move to different places in
- 【訳】 文章と表の情報から、空所に最も適したものは次のうちどれか。 34
- ① ～後に設置する国を変える
 - ② ～後に最高速度を2倍にする
 - ③ ～の間、1位の座を保つ
 - ④ ～後にさまざまな場所に移る

▶ 場所や数字についての言及が多いので、表を効果的に参照して正誤を確認しよう。

選択肢の研究

- ① 表に所在地が記されているが、コンピュータがある国を「変えた」ことは示していない。本文にも言及はない。
- ② 表の最高速度を見ると、新しい最速機はその前の最速機の3倍以上の速度になっていることがわかる。
- ③ 表の1994年以降を見ると、ほぼ3年ごとに最速のコンピュータが入り替わっている。これを言い換えると、「ほぼ3年間、各コンピュータが1位の座を守った」ということなので、正解。
- ④ ①と同じ根拠で不正解。コンピュータが移動することは表からも本文からも読み取れない。

問3

正しい推論の判定

According to the article, what will happen in the future? 35

35

- ① Supercomputers will be used for different purposes.
 - ② The new Japanese supercomputer will be the world's fastest if it works as well as the government hopes.
 - ③ The U.S. and Japan will cooperate with each other to make better supercomputers.
 - ④ The U.S. and Japanese governments will increase their budgets to make better supercomputers.
- 【訳】 記事によれば、将来、何が起るか。 35
- ① スーパーコンピュータはさまざまな目的のために用いられるだろう。
 - ② 新たな日本のスーパーコンピュータは、日本政府の期待通りに機能すれば、世界で最速のものになるだろう。
 - ③ よりよいスーパーコンピュータを作るためにアメリカと日本が協力するだろう。
 - ④ アメリカ政府と日本政府はよりよいスーパーコンピュータを作るために予算を増やすだろう。

▶ 表からは将来に関することはわからない。本文Ⅱ.19～22の記載範囲を検索し、正しい言い換えを判定する。

選択肢の研究

- ① Ⅱ.20～22に計算能力についての記述があるが、使用目的についての言及はない。
- ② Ⅱ.20のso that以下は新しいスーパーコンピュータを作る目的（再びトップの座につくこと）が述べられており、選択肢の「政府の期待通りに機能すれば、世界で最速のものになるだろう」との内容と一致する。
- ③ 日米の関係については競争の激化が述べられているが、両国が協力関係になることは推測できない。
- ④ アメリカの予算についての言及はない。

問4

続く話題の予測

What topic might follow the last paragraph? 36

- ① An analysis of the similarities between past supercomputers and the latest ones.
- ② An explanation of the processing power of new supercomputers being planned by Japan.
- ③ An overview of supercomputers that do not require memory to function.
- ④ Examples of the ways in which supercomputers have changed other areas of work.

【訳】 何の話題が最終段落に続く可能性があるか。 36

- ① 過去のスーパーコンピュータと最新のものと類似点の分析。
 - ② 日本が計画している新しいスーパーコンピュータの処理能力の説明。
 - ③ メモリーが機能する必要がないスーパーコンピュータの概要。
 - ④ スーパーコンピュータが他の研究分野を変えた方法の例。
- ▶ 最終段落に続く話題を予測する問題。第3段落第1文で、考察するものとして「近年のスーパーコンピュータの状況」と「スーパーコンピュータが科学技術の他の分野に及ぼした影響」を挙げている。しかし第2文以降で「近年のスーパーコンピュータの状況」が述べられてはいるが、「他の分野に及ぼした影響」に関する記述はない。よってこの「他の分野に及ぼした影響」に合っているものが正解になる。

選択肢の研究

- ①②③は「スーパーコンピュータが科学技術の他の分野に及ぼした影響」の説明にはならないので、不適。
- ④「他の研究分野を変えた方法の例」は「他の分野に及ぼした影響の考察」と合っているため、これが正解。

語句・表現		
1.1 processing power「処理能力」	1.9 calculate「計算する」	問20 double「2倍にする」
1.1 increase「増加する」	1.10 per second「1秒につき」	問3 according to「～によれば」
1.1 dramatically「劇的に」	1.10 sound「～に思える、聞こえる」	問30 purpose「目的」
1.2 be true for「～に当てはまる」	1.10 actually「実際は、それどころか」	問30 cooperate with「～と協力する」
1.3 own「所有する」	1.11 current「現在の」> currently「現在、目下のところ」	問40 analysis「分析」
1.3 laboratory「研究所」	1.12 develop「開発する」	問40 similarity「類似点、似ていること」
1.3 government department「政府省庁、政府部門」	1.13 scale「尺度、規模」	問40 overview「概要」
1.4 amazing「驚くべき」	1.14 co-developed「共同開発された」	問40 require ~ to do「～が…することを要求する」
1.4 keep doing「～し続ける」	1.15 simulate「シミュレートする」	問40 function「機能する」
1.5 compete「競争する」> competition「競争」	1.15 affect「影響を与える」	
1.5 reach first place「1位になる」	1.15 aircraft「航空機」	
1.9 megabyte「メガバイト(単位)」	1.15 in flight「飛行中の」	
1.9 memory「メモリ、記憶容量」	1.16 manage to do「何とか～する」	
1.9 peak speed「最高速度」	1.17 examine「考察する」	
1.9 MFLOPS「メガ・フロップス」> G「ギガ」、T「テラ」	1.21 be expected to do「～すると予測される、期待される」	
	1.21 capability「能力」	
	問10 improve「改善する、改良する」	

【別冊】復習ナビブック問題 解答

★ 解答の後のカッコは英文素材の出典箇所、⇒は文法項目のナビブック参照ページを示しています。

- 1

 - ③ (第3問 A- 問1 第5文)
 - ① (第2問 C- 問3-Gwen の3回目の発言)
 - ③ (第2問 C- 問2-Yoshiko の2回目の発言第2文)
⇒ p.32 2 6
 - ③ (第2問 A- 問4)
 - ① (第2問 B- 問1)
 - ① (第2問 A- 問10 改変)
 - ① (第3問 A- 問3 第7文)
- 2

 - (Where) on earth did you get such (a terrible haircut?) (第2問 A- 問2)
 - (You are done with the test already? I've) never seen an essay written so quickly(!)
(第2問 A- 問9) ⇒ p.24 4
 - (I'm really) looking forward to seeing that (new action movie.) (第2問 A- 問5) ⇒ p.24 3
- 3

 - ② (英文の訳は第3問 A- 問2 参照)
- 4

 - ② (英文の訳は第3問 B- James Morgan の発言参照)
- 【選択肢訳】

 - 「筆者は、インターネットがとても役に立つので、非常に満足している」
 - 「筆者が電子メールを通して受け取るメッセージの約5分の4は知らない人からのものである」
 - 「筆者はインターネットを好んでいないが、決してウイルスに悩まされることはない」
 - 「筆者は、インターネット上で人を傷つけたい人がいる理由を理解している」

問1 素早い情報検索と正誤判断

The Beats Method 37.

- ① enables improvement in a short time for any level of user
 ② is most effective when used by young children
 ③ is mostly used by university students majoring in foreign languages
 ④ offers direct instruction from an authority in applied linguistics

訳 ビーツ・メソッドは 37。

- ① どのレベルの利用者にも短期間で改善を可能とする
 ② 幼い子どもたちが使くと、最も効果的である
 ③ 外国語を専攻している大学生によって主に使われている
 ④ 応用言語学の権威による直接指導を提供している

選択肢の研究

- ▶ ① 11.2 ~ 3「入門者でも、スキルアップが目的でも効果的に学べる」、11.4 ~ 6「2、3週間で上達を実感」に一致。
 ▶ ② 「子どもが使用した際の効果」の記述はなく、不一致。
 ▶ ③ 「大学生による使用」に関する記述はなく、不一致。
 ▶ ④ 「博士が直接指導している」という記述はなく、不一致。

問2 具体的な行動の読み取り

According to the advertisement, before buying their products the company recommends 38.

- ① calling to discuss which product is most appropriate
 ② checking Dr. Mary Pearson's website to better understand her work
 ③ reading their newsletters to check skill levels
 ④ trying the sample lesson online

訳 広告によると、会社は商品を買う前に 38 を勧めている。

- ① どの商品が最も適切かを話し合うために電話をすること
 ② メアリー・ピアソン博士の業績をより理解するために、博士のウェブサイトを確認すること
 ③ 習熟レベルを確認するためにニュースレターを読むこと
 ④ オンラインのサンプルレッスンを試すこと

選択肢の研究

- ▶ ① 「電話相談を勧める」記述はなく、不一致。
 ▶ ② 「博士のウェブサイト確認を勧める」記述はない。
 ▶ ③ 「ニュースレターで習熟レベルを確認」の記述はない。
 ▶ ④ 1.12「サンプルテストを受けてください」に注目。「最適なレベルを知り購入の助けとなる」と推奨されている。

問3 条件による情報の絞り込み

A person who pays \$110.00 for one of these products 39.

- ① is probably skilled in the language he or she is studying
 ② must use the online form to order
 ③ will not receive an MP3 player
 ④ will receive additional learning aids for free

訳 これらの商品の1つに110ドルを払う人は 39。

- ① その人が学んでいる言語に、おそらく習熟しているだろう
 ② 注文にオンラインフォームを使わなければならない
 ③ MP3 プレーヤーを手に入れないだろう
 ④ 無料で追加の補助教材を手に入れるだろう

- ▶ 1つ110ドルの「基本パッケージ2」の構成を確認。なお、値引きを考慮しても110ドルで買える商品は他にない。

選択肢の研究

- ▶ ① 「基本」パッケージを買う人は「おそらく習熟していない」と考えるのが妥当。よって不一致。
 ▶ ② チラシ最下部から、注文方法は電話かオンライン。該当商品の注文方法を制限する記述はなく、不一致。
 ▶ ③ パッケージ2にはMP3プレーヤーがつくので、不一致。
 ▶ ④ 「無料の追加補助教材」はfree flash cardsを言い換えたもの。基本パッケージで手に入るの、一致する。

問4 条件に合わせた計算

An order placed on February 22 for one intermediate Package 2 and one advanced Package 1 program by a person who has signed up for the e-mail newsletter will cost 40 dollars.

- ① 140.00 ② 170.00 ③ 180.00 ④ 190.00

訳 2月22日に、中級パッケージ2を1つと上級パッケージ1を1つ、eメール（による）ニュースレターに登録した人が行った注文は、40 ドルになる。

- ▶ 2月22日は特価提供の限定期間外。中級パッケージ2は\$115、上級パッケージ1は\$75、ニュースレター登録で-\$10 (1.22 ~ 24)。よって、115 + 75 - 10 = 180。

訳 外国語を楽しく学ぼう：リズムと音楽で！

まったく新しいビーツ・メソッドは、スペイン語、フランス語、ドイツ語、中国語、そして日本語を、入門者の方もスキルアップが目的の方も楽しく効果的に学べる方法をご提案します。私たち独特の方法は、外国語学習を専門とするコロラド大学の言語学者と協力して開発されたものです。わずか2、3週間で、あなたの語彙記憶力、作文力、思考表現力、口語（話し言葉）の理解力が驚くほど上達することがわかるでしょう。

ビーツ・メソッドは応用言語学の権威、メアリー・ピアソン博士によって開発されました。ピアソン博士はウェスト大学で博士号を取得し、現在はコロラド大学外国語学部長です。氏は、子どもと大人の言語習得プロセスを何年も研究し、新たな言語をあらゆる面で習得する際の、リズムカルな指導の重要性を早くから研究しています。

私たちのウェブサイトを訪問して、5分間のサンプルテストをお受けください。独特の教授法のよさを実感していただけるだけでなく、このサンプルによって、あなたに最適な学習レベルを決定するのに役立ちます。

商品構成

パッケージ1: 100時間を超えるMP3音声ファイル入りのCD-ROM およびガイドブック

パッケージ2: CD-ROM、ガイドブック、繰り返し機能とスピード調節機能がついたMP3プレーヤー

* 基本パッケージには100の基本語を覚えるのに役立つ無料のフラッシュカードが付属しています！

特価提供

・eメールアドレスをご送信いただき、無料の月1回のニュースレターにご登録ください。ご注文合計金額から10ドルを値引きするクーポンをお送りします。

・期間限定 2つのパッケージをご購入いただきますと、さらに10ドルを値引きいたします！（1月14日から31日まで）

価格（値段表割愛）

ご注文は：1-888-LANGUAGEへお電話か、www.beatslanguage.comを訪れてオンラインでご利用ください

選択肢の正誤を素早くスキャンする

問1: ビーツ・メソッドとは何か。

【選択肢】

- ▶ ① 「どのレベルの利用者でも、短期間で改善を可能とする」
 【チラシ】2 ~ 3行目、4 ~ 6行目
 ・「入門者でも、スキルアップ目的でも効果的に学べる」
 ・「数週間で上達し、驚くだろう」

チラシの意図を推測する

問2: 商品を買う前に、この会社は何を勧めているか。

【選択肢】

- ▶ ④ 「オンラインのサンプルレッスンを試すこと」
 【チラシ】12 ~ 14行目
 ・「このサンプルは、あなたに最適な学習レベルを決定するのに役立つだろう」

設問文の条件で情報を絞り込む

問3: これらの商品の1つに110ドルを払う人には何かがあるか。

【選択肢】

- ▶ ④ 「無料の追加補助教材を手に入れるだろう」
 【チラシ】20行目、表の2行目
 ・1つで110ドルの値段なのは基本パッケージ2。
 ・「基本パッケージには、基本100語の習得に役立つ、無料のフラッシュカードが付属する」

設問文の条件に合わせた計算をする

問4: 2月22日に中級パッケージ2と上級パッケージ1を1つずつ注文する、ニュースレター登録者はいくら支払うか。

【選択肢】

- ▶ ③ 「180ドル」
 【チラシ】22 ~ 26行目、表の3 ~ 4行目
 ・中級パッケージ2 (\$115) + 上級パッケージ1 (\$75) = \$190
 ・「ニュースレター登録者には、合計金額から10ドルを値引きするクーポンを送る」
 ・よって、190 - 10 = \$180。

語句・表現

- 問1⑩ enable 「可能にする」
 問1⑩ improvement 「改善、向上」
 問1⑩ effective 「効果的な、効率的な」
 問1⑩ major in ~ 「～を専攻する」
 問1⑩ offer 「提案する」
 問1⑩ instruction 「指導」
 問1⑩ authority 「権威、大家」
 問1⑩ applied linguistics 「応用言語学」
 問2 product 「製品、商品」
 問2 recommend 「推奨する」
 問2⑩ discuss 「話し合う」
 問2⑩ appropriate 「適切な」
 問2⑩ skill 「技能、腕前」
 > skilled 「習熟している」
 問3⑩ probably 「おそらく、たぶん」
 問3⑩ order 「注文する」
 問3⑩ additional 「追加の」
 問3⑩ aid 「補助（するもの）」

Learn a foreign language the fun way: through rhythm and music!

問1 The all-new Beats Method offers a fun and effective way to learn Spanish, French, German, Chinese or Japanese, whether you're a beginner or you're looking to improve your skills. Our unique method was developed in cooperation with linguists at the University of Colorado who specialize in foreign language study. In just a couple weeks, you'll see amazing progress in your ability to remember vocabulary, make sentences, express your ideas and understand the spoken language.

The Beats Method was developed by Dr. Mary Pearson, an authority in the field of applied linguistics. Dr. Pearson earned her Ph.D. from West University and currently heads the University of Colorado Foreign Language Department. She spent years researching the language learning process of children and adults, learning early on the value of rhythmic instruction in learning all aspects of a new language.

問2 Please visit our website and take our five minute sample test. Not only will you see the advantages of our unique method, but this sample will also help you determine the level of study that's right for you.

OUR PACKAGES

Package 1 includes:

CD-ROM with over 100 hours of MP3 audio files, guide book

Package 2 includes:

CD-ROM, guide book, and an MP3 player with repeat and speed adjustment functions

*Basic packages also include free flash cards to help you learn 100 basic words!

SPECIAL OFFERS

・SIGN UP FOR OUR FREE MONTHLY NEWSLETTER BY SENDING US YOUR E-MAIL ADDRESS AND WE'LL SEND YOU A COUPON FOR A \$10 DISCOUNT OFF THE PRICE OF YOUR TOTAL ORDER!

・LIMITED TIME BUY TWO PACKAGES AND GET AN ADDITIONAL \$10 DISCOUNT!
 (From January 14-31)

PRICES

Level	Package 1	Package 2
Basic	\$60.00	\$110.00
Intermediate	\$65.00	\$115.00
Advanced	\$75.00	\$125.00

To order: call 1-888-LANGUAGE
 or place your order online
 by visiting www.beatslanguage.com

1 “I think I’ll buy something at that furniture shop.” That was the first thought that came to my mind when I decided to move to a new apartment after graduating from college. “I want a little round table to put next to my bed. If they don’t have one I like, then maybe a little chair would be nice.” I went by the shop to make sure it hadn’t closed down.

2 When I was a child, I walked past that shop on my way to school. It was a little place that sold small dressers, tables, chairs and other pieces of furniture. It was old, but everything it sold was lovely and well-arranged. But the truth is I don’t remember much about the products themselves. What I remember best is the owner, and how he would sit upright in the back of the shop and flip through pages of a book. I would watch this over and over, from a distance so as not to be noticed.

3 I have vague memories of some trouble that I caused the owner when I was about six or seven years old. It was a cold evening and I was passing the store as always on my way home from school with my friends. One thing I remember is the sound of breaking glass. I don’t remember the sound clearly, but I think it was pretty loud. And I remember not being able to sleep at all that night. Then I remember the next day — or maybe two or three days later — my father and I, and my friend and his father walking together in silence toward the shop on a pitch-black street. It was freezing that night, and my heart felt like it was going to break from beating so hard. And I can remember the shop owner smiling a little and patting me on the head.

訳

1 ①「あの家具店で何か買おう」②それは、大学を卒業した後に新しいアパートへ引っ越すことを決めたとき、私の心に最初に浮かんだ考えだった。③「ベッドの隣に置く小さくて丸いテーブルが欲しい。④もし気に入るものがなければ、小さいすがよいかもしれない」⑤私はその店のそばを歩いて、既に店が廃業していないことを確認した。

2 ①子どもの頃、私は学校に通う途中、その店の前を通っていた。②小さな化粧台やテーブル、いすなどの家具を取りそろえている小さな店だった。③古い店だったが、売っているものが全てが素敵で、整然と並べられていた。④しかし、実は商品そのものについてはよく覚えていない。⑤私が一番よく覚えているのはその店主で、彼が店の奥で背筋を伸ばして座って、本のページをめくっていた様子である。⑥私は気づかれないように遠くから、何度もそれを見たものだった。

段落要旨

1 私は引っ越しをする機会に「あの家具店」で何か買おうと思い、店が廃業していないかどうか確認した。

2 その店は私が子どもの頃の通学途中にあり、店主のことをよく覚えている。当時私は、気づかれないように、店主が店の奥で本を読んでいる様子を見ていたものだった。

3 私が6、7歳のとき、店主に迷惑をかけたことのあいまいな記憶が残っている。それは寒い夕方に店の前を通ったときのことだった。ガラスが割れる音や後日父や友人たちと一緒に店に向かう途中で心臓が張り裂けそうだったことなどを覚えている。

3 ①私が6歳か7歳ぐらいのときに、店主に迷惑をかけたことのあいまいな記憶が残っている。②それは寒い夕方のことで、私はいつものように学校からの帰り道に、友人たちとその店の前を通りかかった。③私が記憶していることの1つは、ガラスが割れる音だ。④はっきりとは覚えていないが、かなり大きな音だったと思う。⑤そして、その夜は全く眠ることができなかったことを覚えている。⑥それから、その翌日 — もしかすると2、3日後だったかもしれないが — 私の父と私、そして友人とその父親が真っ暗な道をその店に向かって一緒に黙って歩いたことを覚えている。⑦その夜は凍えるように寒く、心臓の鼓動はとても激しくて、今にも破裂しそうに感じた。⑧そして、その店主が少しほほえんで私の頭をなでたのが思い出される。

正解へのプロセス

▶ センター試験の長文読解では、基本的に設問は英文の流れの順に出題される。よって第1段落から順に情報を整理する。

(第1段落第1～4文)

「引っ越しの機会にその家具店でテーブルかいすを買おうと思った」

(第1段落第5文)

「店が廃業していないかどうか確認した」

(第2段落第1文)

「子どもの頃の通学路の途中にその店はあった」

▶ 以上から、第1段落第5文を適切に言い換えている①が正解。

正解へのプロセス

▶ 筆者が子どもの頃の記述は第2段落以降にあるので、順に情報を整理する。

(第2段落第1文)

「子どもの頃、筆者は学校に通う途中、その店の前を通っていた」

(第2段落第2、3文)

「その店は素敵な家具を売っている小さな店だった」

(第2段落第5、6文)

「一番よく覚えているのは店主が本を読む様子で、気づかれないように何度も見たものだった」

▶ 以上から、第2段落第5、6文の言い換えとして適切な④が正解。

問1

問1 What is true about the furniture shop in the story? 41

- ① The author checked whether or not the shop was still open.
② The author found out the shop’s closing time.
③ The author frequently visited the shop after entering college.
④ The author happened to find the shop near his new apartment.

訳 この話に出てくる家具店について正しいものはどれか。 41

- ① 筆者は、その家具店がまだ営業しているかどうかを確認した。
② 筆者は、その家具店の閉店時間を調べた。
③ 筆者は、大学に入学後もたびたびその店を訪れた。
④ 筆者は、新しいアパートの近所でその店を偶然見つけた。

解説 ① 第1段落第5文とはほぼ同じ内容を言い換えているので、これが正解。

② 筆者が店の「閉店時間を調べた」ことを示唆する記述はないので、不適。第1段落第5文に出てくる句動詞 close down は「(店などが) 閉鎖する、廃業する」の意。
③④ いずれもそうした内容を示唆する記述がなく、さらに第1段落第5文「(筆者が) 廃業していないかどうか確認した」にどちらも合わず不自然である。よって不適。

問2

問2 When the author was a child, he 42

- ① had no idea what items the shop sold
② often had the shop’s owner read him books
③ once received a table from that shop as a gift
④ was interested in the actions of the shop’s owner

訳 筆者が子どもの頃、彼は 42

- ① その店でどんな品物を売っていたのか全くわからなかった
② よくその店主に本を読んでもらっていた
③ 一度、その店からテーブルをプレゼントされた
④ その店主のふるまいに興味があった

解説 ① 第2段落第2文に不一致。

② 筆者が店主に本を読んでもらっていたことを示唆する記述はないので、不適。

③ 筆者が子ども時代にテーブルをプレゼントされたことを示唆する記述はないので、不適。

④ 第2段落第5、6文の内容「店主が背筋を伸ばして座り、本のページをめくっていた様子を何度も見たものだった」の言い換えとして適切な④が正解。

語句・表現

1.1 furniture 「家具」

1.2 graduate from 「～から卒業する」

1.3 next to 「～の隣に」

1.4 make sure 「確かめる」

1.4 close down 「(店などが) 閉鎖する、廃業する」

1.6 walk past 「～の横を歩く」

1.7 dresser 「化粧台」

1.8 lovely 「素敵な」

1.8 well-arranged

「きれいに配列された」

1.10 upright

「(姿勢を) まっすぐにして」

1.10 flip 「(本などのページを) めくる」

1.11 over and over 「何度も繰り返し」

1.11 from a distance 「遠くから」

1.11 so as not to do 「～しないように」

「～しないために」

1.12 vague 「あいまいな」

1.12 trouble 「迷惑」

1.13 as always 「いつものように」

1.15 pretty 「かなり」

1.15 loud 「(音量が) 大きい」

1.17 in silence 「静かに、無言で」

1.18 pitch-black 「真っ暗な」

1.18 freezing 「非常に寒い」

1.20 pat 「軽くたたき、なでる」

1.21 move into 「～に引っ越す」

1.24 wheelchair 「車いす」

1.25 get ready to do

「～する準備をする」

1.25 apologize 「謝罪する」

1.26 dozen 「12個、10あまり」

1.26 odd 「余りの、端数の」

1.28 a thing

「[否定文で] 何も(～ない)」

1.30 tape 「テープで留める」

1.32 look confused

「きょとんとした顔をする」

1.32 eternal 「永遠の」

1.32 mystery 「謎、神秘」

1.33 prop up A against B

「AをBに立てかける」

1.34 potted plant 「鉢植え」

1.34 make a guess 「推測する」

1.35 hole 「穴」

1.37 as a way of 「～の手段として」

1.39 reply 「返事をする」

1.40 hand A B 「AにBを(手)渡す」

問1 ⑩ author 「作者、筆者」

問1 ⑩ closing time 「閉店時間」

問1 ⑩ frequently 「頻繁に、たびたび」

問3 ⑩ confuse A with B

「AをBと混同する」

問3 ⑩ mention 「～に言及する」

問3 ⑩ be convinced 「～ということを確信している」

問5 ⑩ catch a cold 「風邪をひく」

問5 ⑩ assumption 「仮説、仮定」

4 On the day before I moved into my new apartment, I went to the shop, opened the door and stepped inside. The owner, sitting in his usual place, said hello in a small voice. After looking around for a while, I picked up a small table and checked its price. "I'd like this table, please." The owner came over to me in his wheelchair. "Great choice. It's old, but it's a nice piece." Then, as I was getting ready to pay, I started to apologize again for what I'd done a dozen and some odd years before. The owner smiled and went to get a large sketchbook from the back of the store. Then he asked me if I remembered what it was. "It looks like it was mine," I said. But I could hardly remember a thing.

5 He told me all about what had happened. He told me that the glass I "broke" was already broken and taped together, and how we all came to apologize the next night, and how he found this sketchbook with my name on it in front of the store the morning after that. When he saw that I looked confused, he said, "It's the eternal mystery, isn't it?" He went on to explain that I had left the sketchbook propped up against the door with potted plants and other objects nearby. He and his wife had each made guesses about what I had done. His guess was that I had left it there to cover the hole in the broken glass. His wife's guess was that I had drawn a picture on the first page of the sketchbook as a way of apologizing.

6 "I wish I knew the answer ..." I told him. "Like I said, it's the eternal mystery," he replied. We laughed together. Then I told him that I would be moving to the next town over, and would graduate from college and start working in the spring. He handed me my sketchbook with the table and I left the store. As soon as I got home I asked my mother if she remembered the whole event. "Of course," she told me. "You were so worried that the man would be cold."

訳

4 新しいアパートに引っ越し前日に、私はその店に行き、ドアを開けて中に足を踏み入れた。店主はいつもの場所に座りながら、小さな声でいらっしゃいと言った。しばらく店内を見回した後、私は小さなテーブルを手にして、値段を確認した。「このテーブルが欲しいのですが」店主は車いすに乗って、私のところまで来た。「よい選択だと思います。古いですが、品質は確かなものです」それから、私は支払いの準備をしながら、十数年前に自分がしたことについて再び謝罪の言葉を切り出した。店主はほほえんで、店の奥に大きなスケッチブックを取りに行った。そして、彼は私にそれが何であるか覚えているかと尋ねた。「私のスケッチブックみたいですね」と私は言った。しかし、私はほとんど何も思い出せなかった。

5 店主は私にそのときの出来事を全て話した。彼は、私が「割った」ガラスはそのとき既に割れていてテープで留められていたこと、次の日の夜私たち全員が謝りに来たときの様子、そして店主がその翌朝、私の名前が記されたこのスケッチブックを店の前で見つけた状況につ

いて私に話した。私がきょとんとした顔をしているのを見て、店主は「永遠の謎というわけですね?」と言った。彼は続けて、私が鉢植えの植物や近くにあった他の物を使ってそのスケッチブックをドアに立てかけて置いていたことを説明した。店主と店主の妻は、私がしたことについてそれぞれ推測していた。店主の推測は、割れたガラスの穴をふさぐために私がスケッチブックをそこに置いたというものだった。店主の妻の推測は、私が謝罪の意味でスケッチブックの最初のページに絵を描いたというものだった。

6 「答えを知っていればいいのですが…」私は彼に言った。「さっき言ったとおり、それは永遠の謎なんです」と彼は答えた。私たちは笑い合った。その後、私は隣町に引っ越し予定であることや、大学を卒業して、この春から働き始めることを彼に話した。店主は私にテーブルと一緒にスケッチブックを渡して、私は店を後にした。家に着くとすぐに、私は母親にその出来事の一部始終を覚えているかどうか尋ねた。「もちろんよ」彼女は私に言った。「あなたは、店主が寒い思いをするだろうととても心配していたわ」

段落要旨

4 引っ越しの前日に私はその店に行き、買い物をする間に改めて十数年前の出来事の謝罪をした。すると店主は私に大きなスケッチブックを見せて、覚えているか尋ねた。しかし、私はほとんど何も思い出せなかった。

5 店主は、当時私の名前が書かれたスケッチブックを店の前で見つけたことを話したが、私が思い出せないのを見て、「永遠の謎なのかな?」と言った。スケッチブックが置かれていた理由を、店主は割れたガラスをふさぐため、店主の妻は、謝罪の意味で私が絵を描いていたのだと推測していた。

6 私はその答えがわからなかった。店主は改めて「永遠の謎だね」と言った。家で母にこの話をすると、母は、店主が寒い思いをすることを私がとても心配していたことを覚えていた。

正解へのプロセス

▶ 店内での場面が描写されている第4段落以降の記述をもとに、各選択肢を絞り込む。

(第4段落第8文)

「筆者は十数年前の件を再び謝罪した」→①が不適

(第4段落第10～12文)

「店主が持ってきたスケッチブックを筆者は覚えていなかった」

(第5段落第1文)

「店主はそのときの出来事を全て話した」→③が不適

(第5段落第2文)

「店主は、筆者が割ったガラス…、筆者の名前が記されたスケッチブック…を伝えた」→④が不適

▶ 以上から、第4段落第8文と第5段落第2文に一致する②が正解。

正解へのプロセス

▶ “eternal mystery”が本文中に出てくる前後の情報を整理する。

(第4段落第10文)「店主は筆者に、スケッチブックを覚えているかと尋ねた」

(第5段落第2文)「店主は、謝罪を受けた翌朝に筆者の名が記されたスケッチブックを見つけた」

(第5段落第3文)「筆者がきょとんとした顔をしたので、店主が『永遠の謎なのかな?』と言った」

(第5段落第5文)「店主とその妻が筆者の行動について推測した」

▶ 「スケッチブックを置いた筆者自身が、それを覚えていなかった」ので、「それを置いた理由」が「永遠の謎」なのである。よって①が正解。

正解へのプロセス

▶ 設問文に「～が本当である可能性が高い」とあり、本文中に明確な記述がない内容の選択肢を選ぶ問題。各選択肢を消去法で絞り込む。

①: (第4段落第12文)「ほとんど思い出せなかった」に矛盾。→×

②: 示唆する記述がない。→×

④: (第5段落第7文)「筆者が謝罪の意味でスケッチブックの最初のページに絵を描いた」に矛盾。→×

(最終段落最終文)「筆者の母親が、筆者は店主が寒い思いをするだろうと心配していた、と言った」

▶ 「筆者は冷たい外気の侵入を防ぐためにスケッチブックで穴をふさいだ」ことが推測でき、第5段落第6文の「店主の推測」が正しい可能性が高い。よって③が正解。

問3

問3 At the shop, 43.

- ① the author confused the owner with someone else
- ② the author mentioned that he had once caused trouble for the shop's owner
- ③ the owner had completely forgotten an event from over ten years ago
- ④ the owner was convinced that the sketchbook did not belong to the author

訳 その店で、43.

- ① 筆者は、店主を別の誰かと勘違いした
- ② 筆者は、以前に自分が店主に迷惑をかけたことを話題にした
- ③ 店主は、十年以上前の出来事を完全に忘れていた
- ④ 店主は、スケッチブックが筆者のものではないと確信した

解説 ① 第4段落第8文で筆者が店主に謝罪していることから、「店主を別の誰かと勘違いした」と考えるのは不自然なので、不適。

② 第4段落第8文の「十数年前に自分がしたこと」は、第5段落第2文の「筆者がガラスを『割った』こと」なので、これが正解。なお、当時の筆者の記憶が描かれている第3段落の冒頭に「店主に迷惑をかけたことのあいまいな記憶」とある。

③ 第5段落第1文に不一致。

④ 第5段落第2文に「筆者の名前が記されたスケッチブック」とあるので、不適。

問4

問4 What is the “eternal mystery”? 44

- ① The reason for the author's actions in the past
- ② The reason for the owner's wife's actions
- ③ The reason the owner often read books
- ④ The reason there were pictures of plants in the sketchbook

訳 「永遠の謎」とは何か。44

- ① 過去に筆者がとった行動の理由
- ② 店主の妻がとった行動の理由
- ③ 店主がよく本を読んでいた理由
- ④ スケッチブックに植物の絵が描かれていた理由

解説 ① 第4段落第10文以降の内容から、第5段落第5文以降の「筆者がかつてとった行動に関する推測」は「永遠の謎」の答えを推測したものだと考えられる。よってこれが正解。

② 店主の妻がとった行動に関する記述はないので、不適。

③ 「店主が本を読んでいた」ことの理由について示唆する記述はないので、不適。

④ スケッチブックに植物の絵が描かれていたことを示唆する記述はないので、不適。

問5

問5 By the end of the story, it is most likely true that 45.

- ① the author had thought about the “eternal mystery” for many years
- ② the author's mother realized that the owner had caught a cold
- ③ the owner's assumption was correct
- ④ there were no pictures drawn in the sketchbook

訳 話の結末によると、45. ということが本当である可能性が高い。

- ① 筆者は「永遠の謎」について何年も考えていた
- ② 筆者の母親は、店主が風邪をひいたことがわかった
- ③ 店主の推測が正しかった
- ④ スケッチブックに絵は描かれていなかった

解説 ① 第4段落第9文～第5段落第3文までの記述で、筆者は、「永遠の謎」の前提となる「かつて自分が店の前にスケッチブックを置いたこと」自体を忘れていたと考えるのが自然。よって不適。

② こうした内容を示唆する記述はないので、不適。

③ 第5段落第6文と最終段落最終文から推測可能な内容なので、これが正解。

④ 第5段落第7文の店主の妻の推測から、スケッチブックには絵が描かれていたと考えられる。よって不適。

段落展開

(1)

話題「ジョンと食の関係」

主旨「ジョンは他の若者と異なる食との関わりを持っている」

高校生のジョンが他の若者と違う点

- ・ファーストフード店に行かないこと
- ・家で料理をすること

(2)

話題「スローフードの概要」

主旨「スローフードはファーストフードに抵抗する考え方である」

スローフード運動

- ・イタリア人によって創始
- ・ファーストフードが食に与える影響について抵抗を示す

訳

① ジョン・パウカーはどこにでもいるアメリカの18歳だ。② 彼はフラミングハムという北東部の小さな町に住み、地元の高校に通い、好きな教科は国語だ。③ いつか作家になりたいと彼は思っている。④ 学校では陸上部に属し、ガールフレンドのジャネットは学生バンドでドラムを叩いている。⑤ しかし、ジョンと他の十代の若者たちには1つ大きな違いがある。試合のあとで仲間たち全員がハンバーガーやポテトを食べようとファーストフード店に行くときには、彼は別れて家へ帰り、祖母とソーセージやパスタソースをつくるのに何時間もかけるのだ。

② ① ジョンはおそらく世界でもっとも若い「スローフード運動」— 120カ国を超える国々の料理人と愛食家たちの半ば公式の集まり— のメンバーである。② 1986年イタリア人男性カルロ・ペトリニによって創始された「スローフード運動」はその名の示すところのもので、ファーストフード店と、それらが私たちの食や、食に対する態度を形作ってきた方法に抵抗しようとするものである。③ ジョンの場合、彼が「ナン」と呼んでいる祖母がいたためにこの運動に加わった。④ ナンはイタリア系アメリカ人で、ジョンの母とジョンを育て、ともに、地元産の食材を使ってゆっくり注意深く作られた家庭料理を愛するようになった。

語句・表現

1.1 eighteen-year-old
「18歳(の人)」

1.2 northeastern 「北東部の」

1.3 favorite 「好きな、お気に入りの」

1.3 subject 「教科」

1.3 someday 「いつか」

1.4 track team 「陸上部」

1.5 teenager 「十代の若者」

1.6 fries 「フライドポテト」

1.6 competition 「試合、競争」

1.7 head 「向かう」

1.7 sausage 「ソーセージ」

1.7 pasta 「パスタ」

1.9 possibly 「ひょっとすると」

1.9 movement 「運動」

1.10 semi-official 「半公式の」

1.10 gathering 「集会」

< gather 「集める」

1.10 found 「設立する」

found - founded - founded

1.12 suggest 「示す、提案する」

1.12 protest 「抗議」

1.12 against 「～に反対して」

1.12 shape 「形作る、形成する」

1.12 diet 「飲食物、食事」

1.13 attitude 「態度、姿勢」

1.13 toward 「～の方へ、～に関して」

1.14 Italian American
「イタリア系アメリカ人(の)」

1.15 raise 「育てる」

1.15 share 「分け合う、分ける」

1.15 slowly 「ゆっくりと、時間をかけて」

1.15 prepare 「準備する、食事をつくる」

1.16 ingredient 「食材」

複数の箇所の内容を要約する問題

この問題は複数の文の内容を組み合わせで判断する必要がある。

第1段落

- ・クラスメートとは違って、ファーストフード店に行かないジョン
 - ・ジョンは家でソーセージやパスタソースをつくる
- (その理由は第2段落で述べられる)

第2段落

- ・ジョンはスローフード運動のメンバー
- ・スローフードをジョンに教えたのは祖母のナン

→ 祖母は地元産の食材を使ってゆっくり注意深く作った家庭料理を愛する

▶ ファーストフードの店に行かないことがジョンが他の仲間と違う点だが、それはスローフードを作っているからである。よって、①が正解。

前後の文の内容から推論する問題

問題文に imply 「示唆する」とあるので、それと同じ内容を別の言葉で説明している選択肢を選ぶ。

▶ 問題文の the way they have shaped ... は第2段落第2文後半にある。

▶ この they はファーストフード店のことで、「ファーストフードが形作ってきた、わたしたちの食習慣」という意味である。

▶ ファーストフードに関する記述は第1段落第5文と第3段落第3文以降にある。

第1段落第5文

「仲間たち全員がファーストフード店に行く」

第3段落第3文

「ファーストフードは安く手軽で、まずまずの味がする」

▶ 以上から、「安く、手軽なので、多くの人が利用する」ということが、ファーストフードが私たちの食習慣に与えた影響だということがわかる。よって、その内容に一致する②が正解。

【to不定詞の副詞的用法：結果】

1.14 Nan is Italian American, and raised John's mother and John to share her love of slowly and carefully prepared home cooking made using local ingredients.

▶ to share は to 不定詞の副詞的用法で、「結果」を表す。「目的(～するために)」と区別しにくく、訳し方もやや難しいが、この文では「目的」では不自然である。

× 「お料理を愛するために母とジョンを育てた」

○ 「母とジョンを育て、その結果、…料理を愛するようになった」

問1

第1段落

問1 John is unlike his classmates because 46 .

- ① he prefers making Slow Food to eating fast food
- ② he thinks Slow Food tastes worse than fast food
- ③ he thinks that fast food is bad for athletes
- ④ he would rather spend more money when he eats

訳 ジョンは彼のクラスメートとは似ていない。なぜなら 46 からである。

- ① 彼はファーストフードを食べるより、スローフードを作ることを好む
- ② 彼はスローフードはファーストフードより味が悪いと思っている
- ③ 彼はファーストフードは運動選手にはよくないと思っている
- ④ 彼は食べるならもっとお金をかけたいと思っている

解説/選択肢の研究

- ① ジョンが仲間とファーストフードの店に行かないのは、家でスローフードを作るからである。
- ② クラスメートがスローフードについてどのような感想を持っているかは述べられていないので、不適。
- ③ ファーストフードと運動選手との関係は述べられていないので、不適。
- ④ ジョンが食べものにお金をかけたいかどうかは述べられていないので、不適。

語句 unlike 「～に似ていない」 athlete 「運動選手」

問2

第2段落

問2 The phrase “the way they have shaped our diets and our attitudes towards eating” implies that 47 .

- ① fast food restaurants have not yet become popular in many places
- ② many people use fast food restaurants to readily get something to eat
- ③ Slow Food Movement members have never tried fast food
- ④ the Slow Food Movement is not supported by elderly people in large cities

訳 「それらが私たちの食や、食に対する態度に与えた影響」という部分は 47 ということを示唆している。

- ① ファーストフード店は多くの場所でまだ人気がない
- ② 多くの人は、手軽に何か食べるものを手に入れるために、ファーストフード店を利用する
- ③ スローフード運動のメンバーはファーストフードを食べたことがない
- ④ スローフード運動は大都市の高齢者の支持を受けていない

解説/選択肢の研究

- ① 「ファーストフード店が私たちの食を形作ってきた」という元の意味と逆になるので、不適。
- ② 第1段落第5文と第3段落第3文以降の内容に一致する。
- ③ 問題部分の意味に適さないなので、不適。本文にスローフード運動の信奉者がファーストフードを食べたことがあるかどうかはふれられていない。
- ④ 問題部分の意味に適さないなので、不適。スローフード運動は比較的新しい運動だということがわかるが、高齢者に支持されているかいないかは文中に触れられていない。

語句 readily 「手軽に、すぐに」

段落展開

(3) 話題「ファーストフードの問題点1」

主旨「ファーストフードは食材や料理法を吟味する能力を失わせる」

〈スローフード〉
・時間をかけ、地元食材を使う
↓
〈ファーストフード〉
・安い、味はますます、画一的

(4) 話題「ファーストフードの問題点2」

主旨「ファーストフードは地方やその経済へ悪影響を及ぼす」

安い調理済みの食べ物に依存
↓
大企業を支持すること

(5) 話題「ファーストフードの問題点とスローフードの利点」

主旨「スローフードは栄養面、安全面で優れている」

ファーストフードは不健康
↓
質の高いものを、農家から買う
→ 栄養面、安全面で優れている

- (3) Carlo Petrini insists on taking time and on using only locally-produced ingredients. These make Slow Food different from fast food. Fast food is cheap, convenient, and often reasonably tasty, but it is also — according to Petrini — unexciting and uninteresting, in large part because it is the same everywhere you go. After all, a chain store's burger in Tokyo tastes much the same as the one in Texas or Tehran. Slow Food believers argue that as we eat the same fast food meals over and over again, we lose our ability to appreciate and enjoy a wide range of ingredients, flavors, and cooking techniques.
- (4) Fast food doesn't just affect individual consumers, though. Petrini and the other Slow Food Movement supporters argue that fast food restaurants have changed not just people's diets, but also the economies of the places where they live; and all these changes have been for the worse. As people rely more and more on cheap, pre-made and pre-cooked food, they support not local farmers and market owners, but rather large international corporations, which may well not have a small community's best interests in mind.
- (5) The final major objection Slow Food Movement members make about fast food restaurants is that they are bad for people's health. While not all Slow Food cooks prepare only healthy meals — many of them use high-fat ingredients like butter and cheese — they do try to use a lot of local vegetables and lean meats, and to make sure that every ingredient they buy is of the highest possible quality. And because Slow Food Movement members buy food from local farmers, they know more about how the food was raised and whether or not it's safe and nutritious.

【訳】 ③ ① カルロ・ペトリニは、時間をかけること、地元産の食材のみを使うことを主張する。② これらがスローフードをファーストフードと違うものにしている。③ ファーストフードは安く手軽で、たいていはまずまずの味がするが、ペトリニによれば、退屈で面白くない。その理由の大半は、どこに行っても同じだからだ。④ 東京のチェーン店のハンバーガーがテキサスやテヘランのものと結局ほとんど同じ味である。⑤ 同じファーストフードの食事を何度も食べていると、我々は幅広い食材や味わい、調理技術を評価したり、楽しんだりする能力を失うだろう、とスローフードの信奉者たちは主張する。

④ ① しかし、ファーストフードは消費者個人に影響するだけではない。② ペトリニや他のスローフード運動の支持者は、ファーストフード店は人々の食事を変えただけでなく、その人が住む地域の経済も変えてしまった—しかも

悪い方に—と主張する。③ 人々がますます安価な、出来合いの食べ物に依存すればするほど、地元の農家や食料品店主ではなく、むしろ大きく国際的な企業を支持することになり、そういった企業は、小さな地域社会のことなど気にかかけたりするつもりもないだろう。

⑤ ① スローフード運動のメンバーによるファーストフード店への最後の大きな反対理由は、その料理が健康に悪いということだ。② すべてのスローフードの料理人が健康的な料理ばかり作るというわけではない—多くがバターやチーズといった高脂肪の材料を使っているが、地元でとれた多くの野菜や赤身の肉を使おうとしているし、手に入れるすべての食材をできるだけ質のよいもので揃えようとしている。

③ そして、スローフード運動のメンバーは地元の農家から食材を買うため、どのようにそれが育てられたか、また、それが安全か、栄養があるかどうかを知っているのだ。

語句・表現

1.17 insist 「主張する」
1.18 cheap 「安価な」
1.18 convenient 「便利な」
1.19 reasonably 「適度に」
1.19 tasty 「おいしい」
1.19 unexciting 「ありきたりの」
1.20 uninteresting 「つまらない」
1.21 taste 「味がする」
1.22 believer 「信じる人」
1.22 argue 「主張する、論じる」
1.23 ability 「能力」

1.23 appreciate 「評価する」
1.23 range 「幅、範囲」
1.23 flavor 「味わい」
1.24 technique 「技術」発音注意
1.26 supporter 「支持者」
1.28 rely on ~ 「～に依存する、頼る」
1.28 pre-made 「あらかじめ作られた」
1.29 pre-cooked 「あらかじめ調理された」
1.29 not A but rather B 「AではなくむしろB」

1.29 market 「食料品店、市場」
1.29 owner 「所有者」
1.30 corporation 「企業、会社」
1.30 may well 「多分～だろう」
1.31 interest 「利益、利害」
1.32 objection 「異議」
1.34 high-fat 「高脂肪の」
1.35 lean 「赤身の、脂肪の少ない」
1.36 quality 「質」
1.38 nutritious 「栄養がある」

段落の内容を要約する問題

問題文に「段落(3)で述べられた例によると」とあるので、この段落の内容に限定して、一致するものを選ぶ。

- ▶ この段落でファーストフードについて述べられている情報は、
- 1) 安く、手軽で、味はますます(第3文前半)
 - 2) どこへ行っても同じ味(第3文後半～第4文)
 - 3) 人々は様々な食材、調理法を吟味できなくなってしまう(第5文)
- の3点。よって、2)に一致する④が正解。

肯定的な言葉 vs. 否定的な言葉

▶ 第3文は、but を境にしてその前と後で肯定的な言葉と否定的な言葉が対立していることに注意しよう。
cheap, convenient, reasonably tasty vs. [but] unexciting, uninteresting, the same

段落の内容を要約する問題

▶ 問題文に「段落(4)によると」とあるので、この段落の内容を要約しているものを選ぶ。

▶ 段落内の各文の主旨は、

- (第1文)「ファーストフードの影響は個人に対するものだけではない」
(第2文)「地域の経済にも悪い影響を与える」
(第3文)「出来合いの食品に依存することは大企業を支持すること」

となる。第3文の
cheap, pre-made and pre-cooked food
「安い出来合いの食品」
は「ファーストフード」の言い換え。

▶ よって、「ファーストフードを食べることは、地域によくない」と要約できるので、④が正解。

【while の用法】

1.33 While not all Slow Food cooks prepare only healthy meals ..., they do try to use a lot of local vegetables and lean meats ...

- ▶ 全体は While S' + V' ..., S + V ~ の構造。while の意味は 1)「…している一方で～」 2)「…している間に～」 3)「…ではあるが～ (= though)」と 3 つあるが、この文の場合は 3) である。
- ▶ not all ~ 「すべてが～というわけではない」(部分否定)
- ▶ do は強調を表す助動詞で、「是非～する、どうしても～する」の意。

問3

第3段落

問3 In the example described in paragraph (3), fast food hamburgers 48 .

- ① are a threat to local farmers and environments
- ② are popular everywhere because people like the same things
- ③ are unhealthy for people who are used to different diets
- ④ don't vary at all from location to location

【訳】 段落(3)で述べられた例によると、ファーストフードのハンバーガーは 48 。

- ① 地元の農家と環境にとって脅威である
- ② どこでも人気があり、それは人々は同じものが好きだからである
- ③ 違う食事に慣れている人にとって不健康である
- ④ 場所によって変わることがまったくない

解説/選択肢の研究

- ① 地元の農家や環境に対する影響についてはこの段落には述べられていないので、不適。
- ② 「人々は同じものを好む」ということは述べられていないので、不適。
- ③ 不健康かどうかについてはこの段落で触れられていないので、不適。
- ④ 第3文後半～第4文の内容に合致するので、正解。

語句 threat 「脅威」 unhealthy 「不健康な」

問4

第4段落

問4 According to paragraph (4), eating fast food means 49 .

- ① you are determined to stop the Slow Food Movement
- ② you are giving help to local farmers and market owners
- ③ you are helping small communities worldwide
- ④ you are not caring about the individual community where you live

【訳】 段落(4)によるとファーストフードを食べることは 49 。

- ① スローフード運動を止めようと決心しているということである
- ② 地元の農家や食料品店主を援助しているということである
- ③ 世界中の小さな地域社会に援助しているということである
- ④ 自分の住む地域のためになることをしていない

解説/選択肢の研究

- ① ファーストフードを食べる行為がスローフード運動にとって何を意味するかは触れられていないので、不適。
- ② 第3文の内容の逆になっているので、不適。
- ③ 第3文の内容の逆になっているので、不適。
- ④ 第4段落全体の主旨に一致するので、正解。

語句 worldwide 「世界中」

段落展開

(6) 話題「スローフードの利点のまとめ」

主旨「スローフードは健康的で画一的でなく、おいしい」

・健康的
・工夫があり、画一的でない
・おいしい

↓
ジョンはスローフードを好む

(7)

話題「スローフード運動への参加方法」

主旨「スローフード運動は、お金のかからない、身近なことから始められる」

〈スローフード運動への参加方法〉
・食についてもう少し注意深く
なること
・地元産の食材を買う

(8)

話題「スローフードの利点、まとめ」

主旨「スローフードはあなたにとってよいものである」

スローフードは
・より経済的
・よりおいしい
・より健康的
手軽ではないが、あなたにとってよいものである

【訳】 6 ① このようにスローフードの調理の利点は多い。② まず第一に、スローフードはたいい、ずっと健康的である。③ また、スローフードはファーストフードより工夫があり、より幅広い料理、食材、調理法を提供する。④ さらに、長い時間と手間隙かけて作った料理はとにかくおいしいものだ。⑤ だから、ジョンは、工場ですきチーズバーガーを友達と食べるのではなく、香辛料のきいた自家製イタリアンソーセージを作るのに4時間もかけるのだ。⑥ 「みんな、笑うこともある。でもたいい僕が学校へ持っていくお弁当の味見をしたがるんだ」と彼は言う。

7 ① どうしたら他の若者もスローフード運動に参加できるのだろうか。② 書店にはスローフードに関する多くの書籍が並び、国によっては参加可能な実際の会合が開かれている。③ しかし、そこまでする必要はない。④ 「ただ、食べるものについて少し注意深く考えてみるだけでいいんだ」とジョンは言う。⑤ 「農家の市場へ行っ

て、家に近いところで育てられた果物や野菜を買ってみるといい。⑥ たいいみずみずしくて、味もおいしい」⑦ さらに、どんな小さな町にも地域の肉やチーズ、パンを供給している人がいるから、ただ少し調べてみればいいのだと、ジョンは言う。

8 ① しかし、これはかなり高くつくのではないだろうか。② やはり、品質がよい地域の食材を買うということは、お金がたくさんかかるように思われる。③ 「驚くかもしれませんが」とジョンは言う。④ 「ナンと僕がスローフード流の料理をはじめたところ、実際は、毎月の食費が減ってきたと母は言っています。⑤ それでも同じ量を食べているんですよ。⑥ よりよい物を食べて、より楽しんでいくことなんです」⑦ もう迷う必要があるだろうか。⑧ スローフードはファーストフードのように手軽ではないかもしれないが、全体としてずっとよい、そしてあなたにとってよりよいものなのだ。

(6) As you can see, the advantages of Slow Food-style cooking are many. For one thing, it's almost always a lot healthier for you. For another, Slow Food is more creative than fast food and offers a wider range of dishes, ingredients, and cooking techniques. And finally, food that is cooked carefully over a longer period of time simply tastes better. This is why John would rather spend four hours making homemade spicy Italian sausage than eat a factory-produced cheeseburger with his classmates. "They laugh at me sometimes," he says, "but they almost always want a taste of the lunches I bring to school."

(7) How can other teenagers get involved in the Slow Food Movement? There are lots of books in bookstores about slow food, and in some countries there are actual meetings you can attend. But you don't have to go that far. "Just thinking more carefully about the food you eat is a good start," says John. "Go to farmer's markets and buy fruits and vegetables grown close to where you live. They're always fresher and better tasting." In addition, he mentions that even small towns often have local suppliers for meat, cheese, and bread — all you have to do is a little research to find them.

(8) But isn't all of this very expensive? After all, buying high quality local ingredients sounds like it would cost a lot of money. "You'd be surprised," says John. "My mother says that since Nan and I really began cooking the Slow Food way, her monthly grocery bills have actually decreased. And yet we're eating just as much food. It's just that we're eating better food, and enjoying it a lot more." So what are you waiting for? Slow food may not be as fast as fast food, but it's a whole lot better, and better for you.

文脈から句の意味を推測する問題

下線部の句の意味を前後の文脈の内容から推測する。

▶ 該当文の冒頭の「しかし」に着目し、前後の文を確認する。

→ 第1、2文「どうしたらスローフード運動に参加できるのだろうか。スローフードに関する書籍も多く、会合も開かれている」

第3文「しかし、あなたは 50」

第4文「ただ、食べるものについて少し注意深く考えてみるだけでいいんだ」

▶ 以上より、第2文の「書籍（を読むこと）や会合（への参加）」に対して逆説的な内容で、かつ第4文の「少し注意深く考えてみるだけでいい」に自然につながる内容は、「書籍を読んだり、会合に参加するよりも簡単な方法でスローフード運動に参加することができる」といったものになると推測できる。よって、正解は①。

段落の話題を確認する問題

▶ (2)～(5)(7) のトピックセンテンスと選択肢を照合する。

(2) 「スローフード運動は 120 国超の料理人と愛食家の集まりで、1986 年に始まった」(第1、2文)

→①「スローフード運動の基本情報」

(3) 「ファーストフードはどこでも同じ味なので退屈で面白くない」(第3文)

→④「多様な味わいが持つ価値」

(4) 「ファーストフードは地域の経済にも悪いほうの影響を与えた」(第2文)

→③「地域社会における食の影響」

(5) 「ファーストフードへの反対理由は健康に悪いということ」(第1文)

→②「スローフードの栄養価が高いという利点」

(7) 「どうすれば他の若者もスローフード運動に参加できるのか」(第1文)

→⑤「スローフード運動への参加方法」

語句・表現

1.39 advantage 「利点」
1.40 healthier 「より健康な」
1.41 creative 「創意に富んだ」
1.41 offer 「提供する」
1.41 dish 「料理」
1.42 finally 「結局」
1.42 period 「期間、時間」
1.43 would rather A than B 「B よりむしろ A をしたい」
1.44 spicy 「香辛料のきいた」

問5

第7段落

問5 The phrase don't have to go that far in Paragraph (7) is closest in meaning to 50.

- ① can join the Slow Food Movement by doing less work
② have to formally agree with the goals of the Slow Food Movement
③ must make a great effort to learn about the Slow Food Movement
④ need to achieve much to start a Slow Food Movement

【訳】 第7段落の don't have to go that far という表現は 50 と意味が最も近い。
① より少ない作業をすることでスローフード運動に参加することができる
② スローフード運動の目標に正式に同意しなければならない
③ スローフード運動について学ぶために大変な努力をしなければならない
④ スローフード運動を始めるためには、多くのことを実現する必要がある

解説 / 選択肢の研究

① 第2文に逆説的な内容かつ第4文につながる内容なので、正解。don't have to go that far は「そこまでする必要はない」という意味。この選択肢は第1、2文の内容も含む具体的な記述になっている。
② 「目標に正式に同意する」は第2文をより発展させた内容で、同時に第4文にもつながらないので、不適。
③ 「学ぶために大変な努力が必要」は第4文「ただ、少し注意深く考えるだけでいいんだ」につながるもので、不適。
④ ②③に同じ。

語句 formally 「正式に」 goal 「目標」 make an effort 「努力する」

B

第2～8段落

問6

Paragraph	Content
(2)	51
(3)	52
(4)	53
(5)	54
(6)	Summary of Slow Food's good points
(7)	55
(8)	Conclusion

- ① Basic information about the Slow Food Movement
② Nutritious benefits of Slow Food
③ The influence of food on regional societies
④ The value of a variety of flavors
⑤ Ways to participate in the Slow Food Movement

【訳】 (6) スローフードの利点の要約 (8) 結論

- ① スローフード運動の基本情報 ② スローフードの栄養価が高いという利点
③ 地域社会における食の影響 ④ 多様な味わいが持つ価値
⑤ スローフード運動への参加方法

解説 / 選択肢の研究

左を参照。 語句 summary 「要約」 participate 「参加する」

1.44 cheeseburger 「チーズバーガー」
1.47 involve 「関係させる」
> get involved in ～ 「～に巻き込まれる、～に関わる」
1.48 actual 「実際の、現実の」
1.49 attend 「出席する」
1.49 that far 「そこまで」 far は程度
1.51 fresher 「よりフレッシュな」
1.52 addition 「付け加え」
> in addition 「さらに、加えて」
1.52 mention 「言及する」
1.53 supplier 「供給者」
1.56 cost 「(費用が) かかる」
1.57 monthly 「月々の」
1.58 bill 「勘定」
1.58 actually 「実のところ、現に」
1.58 decrease 「減少する」
1.58 as much food (as we ate) 「これまでと同じ量の食べ物」
1.60 a whole lot 「(全体的に) ずっと」